	<b>HSK</b> どぼけいと February <b>2月号</b> NO.171 2015.2.10号	1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号514号 発行/2015年2月10日(毎月10日発行) 編集者/我妻 武 住所/〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323 H P <a href="http://npolife.net/">http://npolife.net/</a> 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会 定 価/100円
---	--	--

## 社会的事業所は 「ヒト」が本位の働き方



専務理事 石澤 利巳

2015年も2月になろうとしています。仕事はいつも大変ですが、北海道の冬は特に厳しいですね。

いまから28年前、市議選の活動を終えた私と友人のMは、次の目標に向かって活動を始めました。それは「自分たちの食い扶持」を稼ぐための事業を起こす活動でした。二人は企画と印刷の事業を立ち上げ、そこにフェアトレードに興味を持つ女性や市民活動に興味ある人たちが参加してきました。お互いに協力しあいながらも、自分のやりたい事業は自分が責任を持つというスタイルのネットワーク型の事業運営でした。起業するほどの知恵や情報も、そして一番大事な財力もないままでの無謀な船出でした。仕事が入れば朝から夜中まで働き、仕事があれば営業会議や次の事業プランの検討会などをやり、合間を縫って市民活動に参加するという状態でした。

数年後、その事業体に脳性まひの友人が参加し、障害のある人たちの働く場づくりに関わることになり、ライフの前身である「ワープロフロア」に繋がっていきます。

事業体は10年経た頃に有限会社となりますが、形式的な雇用関係はあっても基本は協同組合の要素をのこした協同労働に近いものでした。ワープロフロアも制度は活用しながら、自分たち流の働き方・稼ぎ方を追求していました。

このように、ライフの前身は労働者協同組合の要素を含んだ障害のある人ない人の働く場を目指してきたと言えます。協同労働ですから最低賃金保障や労働時間のしぼり等はありません。みんなで稼ぎみんなで分けるだけでした。一番大事なことは、やっている仕事や仲間たちが「好き」である

という事が前提だったと思います。

労働＝苦役という事が言われたりもします。しかし、働くということには「傍(はた)が楽(らく)になる」意味もあるはず。困り事や苦しみ事を抱えている人が、誰かに助けられたり支えられたりすることで「楽」になることがあります。それが「働く」の語源と私は解釈しています。すなわち「お互いさま」なんです。

さてライフは、「共生・共働」を掲げた事業所の集合体です。そのライフを構成する一人一人が、「傍が楽になる・お互いさま」をどう受け止めているのでしょうか？ 同時に、今やっている仕事が本当に好きなことでしょうか？ 分からないなりに仕事として関わっている方もいるでしょう。繋ぎで関わっている人もいるかもしれません。でも、やっている仕事を好きになること、仲間に想いを馳せることが出来るようになることは、ライフにとって重要なポイントです。「自己中心」では成り立ちません。

現代の働き方は、資本主義が生みだした雇用主と被雇用者の関係が「常識」となっています。かたや障害者の福祉的就労も数十年の社会福祉事業から出てきたひとつの「常識」として定着しています。

第三の道といわれる共働・共生に基づく「社会的事業所」は、こうした「旧来の常識」を超える新しい人間本位の働き方をめざしたものだと思います。当然マニュアルはありませんから、これからの世代の人たちが作り上げていくことになるでしょう。

「働かされている」から「働く」へ。「個人のため」から「みんなのため」に。困難でやり甲斐のあるこの事業と一緒に取り組んで行きませんか。



## ～第7回共同連全国研修会in大阪 参加報告～



### あらためて『働く』を考える

たねや所長 村上 千春

と思います。

特に、グループワークや交流会での話題であがった“生活介護事業における働くということ”については、今後の大きな課題になってくるのだろうと感じました。生産性や能力ではなく、自分らしく働き生きるということ、自分の居場所としての働く場、それとは逆に働きたくないという考え…100人100通りの考えがあるなかで支え合っていく方法とは?? これからは日々考えながら進めていかなければならないと思います。

今回は研修以外に、念願だった共生シンフォニー（がんばカンパニー・くれおカレッジ）の見学もさせていただき、本当に充実した3日間となりました。反芻し次へ繋げていきたいと思います。

これまで共同連関係の研修には何度も参加していましたが、今回開催された大阪での全国研修会（2015年1月24・25日開催）では、自分なりに『働く』ことに対する考えを、より深められる時間となりました。

研修初日は、「社会が人を障害化する」・「あらためて共同連とは」の講義、NPO法人麦の会の実践報告、「私が働く理由を考える」というテーマのグループワーク。2日目は、「私たちが共同連を紹介するなら…」を考えながら、共同連や現場での実践について自分の思いを伝え合い意識を共有する。2日間、色々な意見を聞くことで、自分の考えや今までやってきたことを振り返る時間をもつことができた

## 共同連全国研修会に参加して

### カフェ・ド・キバリヤ 柳生 由樹

私にとって、久しぶりの大阪と初めての共同連研修会は、楽しみでもあり、緊張もしていました。

初日は、がんばクッキーやくれおカレッジの見学をしました。前から行きたかったがんばクッキーの現場を見ることができて、とても嬉しかったですし、見たことや聞いたことを、戻ってからみんなに話したい! と思いました。そして、2日にわたった共同連研修会では、共同連について聞くことができ、自分の知っていることの少なさを痛感しました。

講演後はグループワークがあり、行く前から私は、人前で自分の意見や思いをきちんと話せるのだろうか…。そもそも、しっかりした自分の意見はあるのだろうか、と考えてしまっていました。しかし、グループワークが始まると、不思議と緊張もせず、リラックスしている自分がありました。障害のあるなしに関わらず、いろいろな人がいて、その場を共有している温かい空間がそこにはありました。

今回の研修会では、知識の他に前向きな『何か』を身体で感じる事ができ、その『何か』をこれから自分自身でしっかり見つけていきたいと思っています。



### コン・プリオ ひだまり 小野 やよい

今回で7回目を数える共同連の全国研修会に参加するため、開催地である大阪へ行かせていただきました。この研修会では「共に生き働く」活動の現場から様々な立場の方が参加され、いま現場で起きていること、抱えている問題、今後の課題等について語り合い、学びあうグループワークが行われました。私が参加させて頂いたグループには、現役の大学生や在日韓国人の方、これから事業所を開設する方など、普段お話しする機会が少ない方も多く、ひとつひとつのお話に刺激を受けるばかりでした。

研修会の前には、滋賀県の“共生シンフォニー”が運営している、くれおカレッジのキャンパスやがんばクッキーの製造ラインを見学させていただきました。私自身、調理の現場で仕事をしていることが多いので、食品を扱っている事業所やお店の方々とお話しすることができ、とても貴重な体験となりました。

今回、見て・聞いて・感じ得たことを、自分たちの活動の中にどのように活かして行くか。“共生、共働”の理念を現場の仲間とどう共有していけるか、日々の仕事に追われがちですが、みんなと共に考えていきたいと思っています。



アウトソーシングセンター  
元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74  
市民活動プラザ星園 103  
TEL 011-596-6581  
FAX 011-596-6582  
E-mail: genki@hatarakutei.jp



## 授産品販売を経験して

土門 亨也

昨年は約 4 回の授産品販売を経験しました。自分が入社して初めて担当地域のまちづくりセンターを営業して、屯田地区センター「ふれあいコンサート」での授産品は販売そして、篠路コミュニティセンターcc\*「コミセン夏祭り」「コミセン・ハッピーマーケット」の授産品販売、その中でも一番大きい授産販売では第 5 回ミニ大通りお散歩まつりがありました。

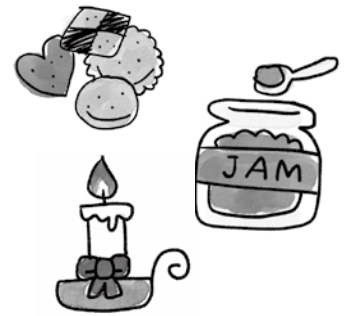
元気ジョブとしては 3 回目の取り組みとなりますが、自分としては初めての大きいバザーの経験となります。毎年、中央区北 4 条西 11 丁目～西 18 丁目を中心とした界限と極楽湯会場で、リハビリ介護予防・フリーマーケット・そして、作業所販売コーナーとして開催され、前年は約 2 万 5 千人の来場がありました。今年も、約 2 万人と前年より下回りました。事務局からは、大通のオータムフェストと重なりおそらく来場人数が落ちたのではないかという話がありました。

何度か事務局と打ち合わせをして、メーリングリストでの案内と、それ以外の事業所にも案内し、12 事業所が説明会に参加、いろいろ意見交換をし



てもらい、自分も慣れないながらも進行し意見を纏めて、何とか最終的には全 10 か所の事業に参加して頂きました。

その中でも、「ハローENJOY札幌」「就労支援センター平岸」「ビーイング」「特定非営利活動法人アトリエアール」「共働サービス たねや」の 5 つの事業所が新しく参加をしてくださり、それぞれいろんな授産品を出店して頂きました。革細工のアクセサリーや、お財布、手作りジャム、木工製品、布製品、藍染製品手作りクッキー、キャンドル、石鹸、天然石のアクセサリーなどが並び、賑やかに販売されました。去年参加した事業所から



『去年は結構お客さんが来ない時間があったけど、今年はお客さんが途切れることなく来ている』との話がありました。

おそらく今回が、作業所販売コーナーで 3 回目の参加となり「ミニ大通りお散歩まつり」自体も 5 回目を迎え、かなり知名度も上がったのではないかと推測されます。また各事業所の販売努力のお陰で、お客さんも途切れる事なく来てくれたのかなあ～と思いました。

今後も「授産品販売のバザー」が開催されると思いますが、授産品販売にとらわれず、役務的仕事をマッチングできるよう、自分でも頑張ってお店をしつつアンテナをはって、一つでも多くの事業所に仕事を案内していきたいと思いました。

**札幌市リユースプラザ**

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東 3 条 1 丁目 1-10

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

**札幌市リサイクルプラザ 発寒工房**

〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

<http://www.reuseplaza.jp/>

2006年12月に国連で障害者権利条約が採択され、国では昨年1月20日にその条約を締結した。それによって国は条約の実施を監視する体制や国連への報告また協力する体制に推進しなければならないことになった。それ故に今、私たちは新制度に期待する面と厳しい現実との間で不安を感じているのでは無いか!

その意味がある記念日に、工房では我妻武理事長にお越し頂き、障害者に関する理解を深める勉強会を行った。講義の内容としては、主にあらゆる障害者に対する理解、コミュニ

**★ 発寒工房研修会に参加して ★****発寒工房 大井 敏彦**

1月20日(火) 2階の会議室でライフの我妻理事長を迎えて1時間ぐらい研修会をしてもらったが、障害者といっても身体・精神の他にもいろいろな障害があり、精神でもいろいろな障害があつて、人それぞれ僕たちは個性といっているけれど障害も人によって違うので、学者たちの言うようなこの障害はこれというものがないのが現状です。

僕たちが関係しているのは理事長をはじめとした車イスの人たち、聴覚障害者の人たち、知的障害の人たち、発達障害(アスペルガー症候群など)の人たちがいるけど一般社会では障害者とのふれあいがあまりないので、理解というより知らないという人が多く、そのための誤解も多い。

車イスの人たちをとっても、言葉が足りない事で

**★ 1月20日工房では ★****発寒工房 ジョン・ウルク**

ケーション方法についてのお話を聞かせていただいた。皆さんが障害に対してより共感ができ、共に働く関係性を深める有意な会だった。

工房には5人の障害者と6人の高齢者がリサイクル品の修理や修繕に勤めている。平素、工房の皆さんが思っていた障害者と健常者が対等な立場で働くという疑問を聞いて、お互いを繋ぐ疎通のパイプの役割について反省した。その原因の一つが納品と納期が大きなハードルになっていることを再認識し、相互間に媒介しての役割となる課題を広げなければならないと思った。

一方、“障害者権利条約”“障害者差別禁止条例”など相次ぐ喜ばしい法律が出来ても、現実が追いつくようには見えない。

終わりに、小規模の勉強会は互いへの理解が深まるのに適切な方法でより活性化するべきだという事を強調したい。

トラブルになりやすい事がわかった。

僕の夢でもある障害者の地位の向上の為にもお互いにコミュニケーションをとって皆さんに知ってもらい、理解してもらうことが大切だと思った。

**発寒工房 齋藤 悦久**

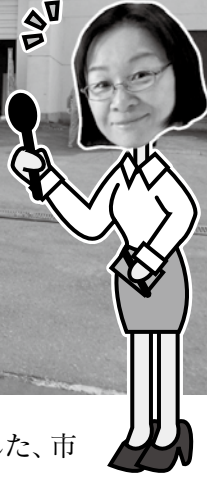
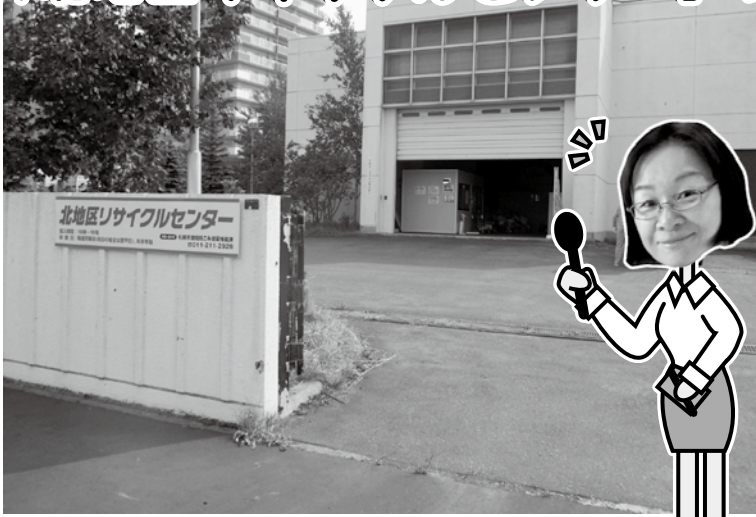
我妻理事長をむかえ、そして新人さん初出勤にあわせて発寒工房で初の勉強会が開かれました。

障がいの名前がいくつあつても性格も違うしみんな違う。違ってもいいし、もしくは同じかもしれない。けど、どっかで噛み合うところは一緒じゃないかなと思いましたね。





# 「北地区リサイクルセンター」って~こんなところですよ!



レポーター 松永 クニ子

例えば、今まで燃やせるごみとして出していた「古着」ですが、衣類全般で洗濯済みの物を透明または半透明の袋に入れて持込む。月1度の回収の燃やせないごみだった、フライパンやお鍋類が「小物金属」として持込み可能です。

- ①まとめて出せる!
- ②土日に出せる!
- ③無料で出せる!

こんなに便利でお得!!是非ご利用くださいね~

昨年10月4日(土)午前10時にオープンした、市内第4番目となる「北地区リサイクルセンター」。

この日に合わせて「古着」の回収も始まりまして。ということで、中央地区・厚別地区・西地区の各リサイクルセンターは古着を持って来る市民で大混乱となりました。どこの施設も古着の山が出来ました。

ところで、北地区リサイクルセンターの場所は、北区あいの里2条6丁目(廃棄物空気輸送センター跡地)です。古着の回収開始のおかげもあり、順調に利用者が増えています。

皆さんは、地区リサイクルセンターを利用されていますか?実はとっても便利であり、そして有料のごみ袋の使用を減らし、リサイクルに貢献ができるんですよ!

土日は地区リサイクルセンターに資源物を出してからお出かけをお勧めします。意外と場所取りな資源物です。家の中もそして、リサイクルに貢献で気分もスッキリ!はいかがでしょうか?

ちなみに古着の回収量は、4か所合わせて10月が19t、11月11.7t、12月5.5tでした。まだまだ知らない人が多い地区リサイクルセンターです。

皆さんもぜひひと利用して、便利さを市民に広げるお手伝いをよろしくお願いします。

地区リサイクルセンターの詳細は、リユースプラザのHPをご覧ください。

<http://www.reuseplaza.jp/>



## ★リユースイベント《冬まつり》★

イベントコーディネーター 西田 大作



みなさん、こんにちは。今年もリユースプラザ冬まつりの季節がやってきました。


このイベントでは毎年、公園の山を使って遊ぶ、そりすべり大会や凧揚げ大会など、子どもたちにうれしい内容を沢山用意しています。

去年は100体の雪だるまを作りプラザ内にかざりましたが、今年は200体に挑戦します!

今年度最後のイベントです!普段なかなか顔を見られないライフの仲間たちが、フラッと遊びに来てくれるととてもうれしいです!

2月21日(土)リユースプラザでお待ちしております!!

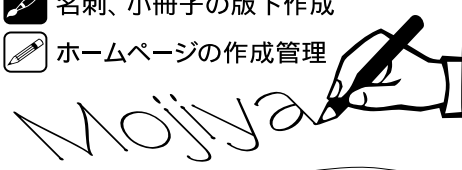




# 共働事業所 もじや

〒064-0808  
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104  
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584  
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理



## 『 人との出会いを楽しむ 』

### 所長 福田 義浩

例えば旅に出たとしよう。景色や食べ物がいくらおいしくても、現地の人と話す機会がなければ、また人との交流がなければ、味気ないものになってしまう。

仕事に関しても同様のことがいえる。人との出会いがあり、その人を知ることにより、人間としても成長させてもらえるのだ。2010年11月6日に行われたライブの研修会は、その意味で意義のあるものだった。この研修会の講師をされた、ゴッツォ (株) の宿田牧夫氏が、この珍しい社名の語源を説明してくれた。

「ゴッツォ」はごちそうが語源であり、「ご」は丁寧語で、馳走とは旬のものを集めてくることをいう。旬のものを集め、心をこめて料理を「どうぞ」と出す。それを食する人が「いただきます」といって相手が集めた素材や料理に対する努力ごとありがたく頂く。その関係が大切なのだと宿田氏はおっしゃった。

クライアントのために、資料を集め、研究し、わかりやすくプレゼンテーションをする。クライアントは、企画をしてくれた人の努力ごと賞賛し、その企画を取り上げてくれる。その関係は双方にとっていい出会いであり、もう一段上へステップアップさせてもくれる。

こんな人との出会いを夢みながら、仕事ジャンキーの私は今日も頑張るのである。

## 『 もじや奮闘記 』

### 永島 勝章

年賀状のシーズンも終わり、年を開けて落ち着くと思いきや、毎日慌ただしい日々が続いている。

今年も、大雪の日が続き通勤にも苦勞しながら朝通ってきて、みんな会社に着くとぐったり疲れているようだ。

毎朝、朝会で各自の持っている仕事をみんなで共有し必要があれば「～さん、これお願い。」「～さん、～手伝って」とあるいは「わたし～やります」と一人ひ

とりの役割分担が決まり、仕事が進んでいく。

それぞれのスタッフは、中心的な印刷・制作・テープ起こし等の業務をこなしながら、大量の名刺・封入作業などが来た時は、一斉にとりかかり、このような仕事の中で、スキルアップが出来るように日々奮闘している。

昨年末私は、年賀状の見本を持って営業に出かけた。以前から配達などで、伺っている所は大丈夫だが、始めて伺う所は「ここなら車イスでも行ける」「ここなら大丈夫だ」と名刺とグーグルマップのストリートビューを見ながら決めてから出かけたが、それでもアクシデントは多かった。

「6階建てだからエレベーターあるって～大丈夫、大丈夫」と親切に教えてくれたところに限って、エレベーターに行くまでに2段の段差があつたり、住宅用のマンションの中に2階が企業用のフロアとマンションの物置で「大丈夫ですって～」の言葉を信じて物置の中をウロウロとしていたら、住人の方が怪しそうに「ここは、物置だけです。2階に行くには裏の階段ですよ～」と、心の中で「どうしよう～どうしよう～、落ち着け落ち着け、冷静に冷静に」と自分に言い聞かせながら、お客様に「すみません、もじやですが車イスで来ていまして、階段なので下に来てくださいますか?」とたどたどしい言語障害で電話をかけると「ちょっと、ちょっと待っていてくださいね」電話を切ると怪しそうに下に降りてきてくださいます、事情を話すと「そうでしたか～」と階段の前での交渉や商品の受け渡しとなった。受け渡しの最中は「申し訳ない」の気持ちでいっぱいだが「また、お願いします。帰り道お気をつけて」と声をかけていただくともた頑張ろう! という気持ちになる。清々しく会社に戻ると「永島さ～ん、また本部に行ってきて～」と声がかかり「わかりました～」と言って、また、電動車イスに乗り換える。

さっ、明日も頑張ろう!





就労継続支援事業A型  
共働事業所

・印刷物版下制作・製本  
・紙焼き写真のデジタル化  
・農業・喫茶・ポストイング  
・DM発送・その他の軽作業

# きばりや

階段、怖いよ〜  
すべらないように  
気をつけなきゃ!!



吹雪の中でも元気に  
ポストイングする星くん

## みんなの職場…



新年を迎えて1か月が経ちました。今年も忙しくなりそうなので、「自分にとっての精いっぱいを出したぞ」と思えるような、悔いが残らない毎日を過ごそうとは思っていますが、なかなかそうはなれず、弱い自分に負けたり、心が折れかかったり…。

そんなとき、汗水、鼻水をたらしながらもひたむきにがんばっている仲間の姿や、面倒なことから逃げないで、一步踏み込んで関わっている仲間の姿勢に、本当に救われています。

そんなみんなとこれからも働いていけるように、またそんな仲間が増えるように、みんながどうしたいのか、何を思っているのか…『みんなの声』が聞けるような機会を増やしたいなと思っています。

誰もがそれぞれ色々な思いを持っているのに、うまく『声』に出せない人もいるだろうし、



## 口に入るものだから

加藤 信一

最近、食品に異物が混入するというニュースが相次いでいる。「ひどいなあ〜」と思って観ていたが、よく考えると私自身も畑でとれた野菜などを扱っている。

自分自身、食べ物に関しては無頓着で子供の頃から添加物たっぷりの食品を食べていて多少のことは気にしないで来ている。

野菜でも、虫がついているほうが新鮮…などと思っているが、やはり生理的に受け付けられないという人もいるでしょう。そう考えると、もっと自分自身も食品を扱うにあたって神経質になったほうがいいのでは？と今回の一連のニュースで感じている。

先日『笑点』という番組を観ていたら「すみませ〜ん、いなこの佃煮に虫が入ってるんですけど」というクレームが来たといという大喜利のネタがあり「落語家さんはうまいなあ」と感心しましたが、「きばりやの野菜は素敵だな」とみなさんに言われるような野菜づくりを目指して、今年も畑に取り組みたいと思います。

## 共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

## Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F  
TEL/FAX : (011)758-6533

上神田 一朗

出す機会や、出せる関係性でなかったりと色々な理由はあるとは思いますが、せつかく長い時間を過ごす『みんなの職場』なので、まずは身近な人という色々なことを話し合い、みんなで創っていきたくです。そして『内』から横へ繋がり『外』へとその輪が広がって展開していけたらと思います。

## ~cafe de きばりやより~

### 『ビーンズケーキ』



単品 260円

ケーキセット 470円

きばりやの農薬不使用のお豆のペーストをたっぷり入れた、贅沢なケーキを作りました。白花豆や金時豆など、日替わりで作っておりますので、いらしてからの楽しみです♪ ケーキセットでもご用意しております。ご来店お待ちしております☆

## カフェドキバリヤの にゅーぶえいす!!

わがもり まいご  
若森 舞子



障害者の方と働くのは初めての経験ですが、スタッフの方を含め、皆さんに温かく迎えていただき感謝です。

これからもカフェに少しでも貢献できるように頑張ります!

## かなり寒くなるよ~

星 ☆ 悠

僕は、一番、頑張っているのがあります。ポストイングです?ポストイングでは、氷が、あってスゲー恥ずかしいこと、有ります。理由は、氷の上お、すべってころんでいるからです。僕は、ポストイング終わってすぐに、汗が、出るよ。

あと、畑も、やっています。あと、色々な仕事との!!勉強したいと、思っています。理由は、僕は、畑以外も、勉強有れば、やりたいこと、有ります。せつきゃくお、やってみたくです。

笑って稼いで生きていこう!!



# たね通 DAY

- NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
  - 出張販売
  - 配送業務
  - チラシ折り
  - 封筒詰め作業
  - 箱折り・シール貼り
  - 清掃委託業務
  - その他委託業務
- 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32  
テラ二十四軒1階
- TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088  
taneya@npolife.net



## 『 今年の目標 』

大浦 拓磨

2015年も早くも1か月が過ぎさりました。イオンの清掃業務がメインの僕は、あまりたねやの売上に貢献出来てないなと感じていたので、今年はたねやの仕事もたくさん勉強して、お店として成り立たせたいという強い目標があります!

メンバー、スタッフ共に意見をぶつけて、より良い環境を作る努力をしていきたいです。

最近のたねやはジャナグルの雑貨やイコロランの卵など新商品が続々入荷しています!

是非、遊びに来て下さい!

**札幌駅前地下歩行空間**  
**「カイマチ」にもぜひお越しください!**

**出店予定** 3月6日/4月2・3・12日  
AM10:00~PM6:00

## たねやイオン 今月のオススメ

### アフリカン雑貨の販売開始

このたび、アフリカのジンバブエにある、貧しい音楽家支援やジンバブエの子どもたちに伝統楽器を使った音楽と踊りを伝承する「ジャナグル(満月・明るい月の意)アートセンター」と協力して販売することになりました。

伝統楽器を楽しく演奏している様子の金属製の人形(3,500円~)やピアスやネックレス(2,800円~)、ビーズや缶で作られた動物(1,800円~)、缶バッジ(500円~)に描かれた絵は色彩鮮やかで、それぞれがすばらしいので、ぜひ直接見て楽しんでいただきたいです。

さらに、魅力的な商品なのはもちろん、売上の一部がアートセンターの運営費や子供たちの学費になりますので、ぜひお買い上げくださいませ。

新商品!!



## 「 a new road 」

高橋 優希

僕はたねやに入ってから約1年半くらいなのですが…色々な所を見てまわりたいと思いました。

忘年会の時に違う事業所のKさんとお話をさせてもらいました。Kさんに言われた事で気付かされた事があります。「色々な所で実習してみたらどうだ!」と言われました。自分でも分かっていたのですが、たねやに馴染んでるのになれてしまって忘れていました。

まだまだ介護ヘルパーの講習が続いています。もしかしたら、この号がでた時には終わっているかもしれません。

話を戻します。たねやで働くのが嫌なわけではありません。ただ学べる道があるなら、学ばないと損だとおもったからです。3月からきばりや&カフェを学びたいと思います。

きばりやさん、カフェさん、お世話になります。

合格おめでとう!



## 「 みなさん明けまして

おめでとうございます

小山 譲

あいさつもそこそこに今年も去年以上に積極的に活動して、目標に向かってがんばっていきたくと思います。

## 「 カイマチのはんぱい 」

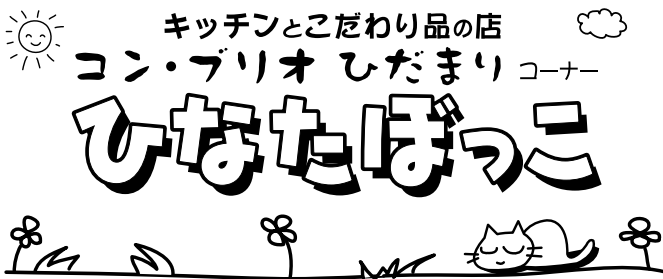
小野寺 貴彦

ぼくはチョコレートとがんばクッキーとゆずの村いちりつとるをがんばって売りたいと思う。

寒いけど声をだしてかせぎたいです。







**コン・ブリオ ひだまり**  
 札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1階  
**TEL 615-4131 FAX 615-4132**  
 E-mail : konburio@npolife.net  
 営業時間：月～木10:30～17:30 金10:30～21:00 土10:30～14:00  
 休業日：日曜、祝日、年末年始

🍷🍷🍷 **2月のひだまり!** 🍷🍷🍷

**成田 めぐみ**  
 新しい年を迎えて、あっという間に1ヶ月が過ぎました。私はひだまりで働かせて頂いて、もう1年をむかえます。気がつけば、何時もメンバーさんが助けてくれています。明るく楽しいひだまりの人達、これからも皆で仲良く楽しくやっていきます。  
 皆さん遊びに来てください。



🍷🍷🍷 **村上 綾**

私は去年の大晦日、一人ですごしました。途中で兄ちゃんが帰って来たんですけど兄ちゃんは自分の部屋にいたので、ほぼ一人で居間でテレビを見ていました！ ご飯もなにも無かったのでいまだに2015年が始まった気がしません(笑)



2日に久しぶりに親戚であつまりました！ 3日は外国人の友達に会って、夜ご飯一緒に食べました。

あと、今年は自分が成人式だったので今年から一人で挑戦したいことがあったら挑戦しようと思います。

🍷🍷🍷 **伊藤 美由紀**

2014年11月4日(火)～午後13時30分まで市立病院の清掃にかかりました。私は床頭台の清掃を1人で火～金までやっています。早く終わったら10F～3Fまでモップかけと10F～1Fまでチャージ機の仕事をしています。タオル洗いもしています。



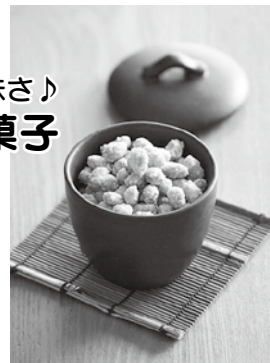
たまにファミリーマートのお手伝いでおかしやカップめんの品出しもしています。

月曜日は1日ひだまりで仕事をしています。(たまあに西区役所にお弁当配達に行っています。)



☆キッチンレシピ！

食べ出したら止まらない美味さ♪  
**福豆で美味しい豆菓子**



☆材 料☆

- 福豆……………120g
- 上白糖……………65g
- 水……………100cc

- ① フライパンに水と上白糖を入れ、中火にかける。
- ② 砂糖が溶けるまで、フライパンを大きく回しながら、煮詰めていく。
- ③ 全体に大きな泡がふつふつとたってきたら、少しそのまま煮詰め、弱火にする。
- ④ 泡が小さくなり、トロミがついてきたら、火を止める。加減が難しいかもしれませんが、時間にして、3分から5分程度です。
- ⑤ 豆を入れ、耐熱のヘラで大きく豆に飴を絡めていく。
- ⑥ 最初、澄んで透明な飴が白く砂糖に戻る感じで絡んでパラパラになれば完成。



最近読んだ本

— 首都感染 —

横窪 友美

中国から致死率60%の強毒性新型インフルエンザが出現し全世界で大流行して人類が窮地に追いやられるという話でした。

最後のほうではワクチンと特効薬が登場して事なきを得ますが、この小説の内容は実際にありえない話ではないだけに身につまされました。

これからも手洗いうがいなど基本の予防を心がけたいと思います。





NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ		お米精米・販売
<h1>こころや</h1>		チラシ折り
		封筒詰め作業
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOM0102		箱折り
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323		シール貼り
kokoroya@npolife.net		清掃委託業務



『 拝啓 廃油回収デ候 』

小黒 悠佑

すっかり見慣れた雪景色です。雪は全てに平等に降り積もり、この世界が白く染まったかのような気になります。ナナカマドの赤い実に積もった白い雪を見ていると、なんとも言えない嬉しさを覚えます。

さてこころやは、最近新しい仕事をはじめました。廃油の集まっている施設に、チームを組んで廃油を回収しに行く仕事です。この仕事のチームは、今まで外に行く仕事に参加してこなかった、もしくはいろいろな状況からできなかった人達を中心に組んでいます。参加している人達は、中の仕事とは違う環境の変化や仕事の内容に、辛い顔

を見せる時もあります。

ある人はこだわりのため、回収場所から離れて行こうとすることもあります。そんな時は説得する時間も無いので、仕方なくそのまま外で待ってもらい、残った人たちと仕事を熟すこともあります。こだわりの強い彼に突然変わることを望むことは出来ませんが、今までと違う環境の中で働いている姿をみるだけで進んでいると思えます。他の皆も理解してくれているのが頼もしいです。

これからもお米事業と合わせて廃油回収チームで頑張っていく所存です。

~~~~~  
**廃油回収について**



後藤 冬風さんに  
毎週行っている廃油回収  
についてインタビューし  
ました。

インタビューー 田中 伸和

田中 「廃油回収の仕事は楽しいですか？  
つまらないですか？」

冬風 「つまらない」

田中 「大変ですか？ 楽ですか？」

冬風 「大変」

田中 「辛いですか？ 辛くはないですか？」

冬風 「つらくはない」

田中 「やりがいがありますか？  
ありませんか？」

冬風 「ありません」

田中 「また、一緒に行きますか？ 行きませんか？」

冬風 「行きます」

田中 「どうもありがとうございました。」



「ライフにきて12年がたって」

山本 守一

ライフは25年たつけれど僕は12年ぐらいでだんだん年をとってきたので、動く力がなくなってきました。プールへ、マッサージへ、リハビリへと頑張っています。



いつどんな時にどんな体になるのかわかりませんので、少しでも何かをしようと思っています。その時のために、ほんの小さな事でも気をつけていこうと思っています。

「ライフでの毎日」

佐藤 賢治

まちかど荘にきてから、かわったことがあっても楽しいです。

ごはんもとてもおいしいです。こころやにきてから毎日が楽しいです。めずらしいことがおきてとても楽しいです。もどってよかったです。

まちかど荘では毎日お酒をのみます。みんなお酒がつよいです。毎日毎日めずらしいことがおきます。

今週はれんぎゅうがきます。まちどおいしいです。

本部のひとはのりがいいです。ライフでは毎日がたのしいです。





退職ごあいさつ **6年間で振り返って**

笠井 衛二



「コカ 聖 聖 聖 聖、ヘルプマン！」より

私は2009年の5月に佐々木所長に声をかけていただき、ヘルパーステーション繭結の一員としてライフに就職、こんにちまでご厄介になりました。

以下は入社当時の2009年6月のアドボケに掲載した自己紹介です。

『……よく人に「目鼻立ちからするとギリシャ系の人ですか？」と聞かれますが、私の曾爺さんは四国の山奥から北海道にやってきました。体型やしぐさ、目や髪の色、喋り方や行動などで人を判断することはできませんね。(注①)……』。

私が在籍した6年間、いろいろなことがありました。繭結でいえば、所長の佐々木さんが片足に大きな怪我を負ったこと(注②)が筆頭に挙げられます。また本部にあった事務所が手狭のため現在の二十四軒に移転したこと。営業面でも当時より1.5倍と売上があがり(注③)、ライフの財政の健全化に若干ですが貢献できました。また当時のサービス提供責任者のお二人が繭結を卒業し、現在はそれぞれ他の事業所長としてライフの重責を担っています。(注④)

おでかけツアーの実施(注⑤)も記憶に残る事業でした。全道各地からいろいろな理由で札幌に集った障害のある方について、集団での見学ではなく、個人の希望による小旅行を設定し、みなさんの故郷を巡りました。(注⑥)

また3年間は発寒工房にも関わりました。発寒に勤務してすぐに2人の女性職員がたて続けに辞められ、(注⑦)自分の力量不足を十分に知らされました。

失敗(注⑧)や間違い(注⑨)、誤り(注⑩)と知識不足⑪、不勉強⑫とやっつけ仕事⑬、いい加減さ⑭、だめさ加減⑮は星のごとく多く、かつ燦然と輝いています。

ライフの事務局及びヘルパーステーション繭結にはご迷惑をおかけしました。2009年4月就労を約束しながら1か月も遅れて(注⑯)5月から勤めたり、今年の4月には30日(注⑰)にわたり休むのを見逃していただき、感謝・感謝です。

私は2月一杯で退職しますが、これからもヘルパーステーション繭結と発寒工房をよろしく願います。

今後については暫らくのお休みの後、私でもいいよ、私でも必要ですよ(注⑱)、という場所があれば、役に立ちたいと思っています。

注① ギリシャ系の人と間違えないでね、と注意を喚起しながらも、共生について鋭く示唆した内容だと今でも感心する文章です。

注② 佐々木所長はあれだけの怪我を負ったわけですが、事業所やスタッフが、どのような総括、教訓としたのか公表されていないのが残念です。

注③ 私が売り上げを伸ばしたわけではないですが、私も関わっていましたから。

注④ お二人の活躍が、背中を押した者にとって最大の喜びで、当人のご努力に感謝します。

注⑤ 自力で自由に行動できない障害者を、集団でドライブや食事に連れ動くのが耐え切れませんでした。対等とか平等、個の尊厳なんて口にしても集団行動を強いていれば、無意味です。

注⑥ 自分の生家を見つけ出したYさんの嬉しそうな様子に感動！ その直後、黙ってその家に入ろうとして、慌てて止めました。

注⑦ その代わりに、ライフのアイドル、坂本倫子嬢が採用されました。

注⑧ 恥ずかしくて言えません。あまりに多すぎて思い出したくない。

注⑨ 注⑩⑪⑫⑬⑭⑮これから出てきます。要注意。

注⑯ 車で山口県まで行ってきました。

注⑰ 車で九州を走りました。

注⑱ だんだん閑職となり、頭越しに決定がなされていきます。私でも、としてくれるならどこでも参りましょう、と思っています。

# ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪

ライフでは、色々な職種の仕事を展開しています。一度働いてみて自分に合わないなと思ったら、ライフの中で別の職種を探すことも出来ます。お気軽に、自分にピッタリのお仕事探しをしませんか？

## 就労継続支援事業B型 たねや



### たねやと一緒に販売をしてみませんか!?

たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。  
 店舗では「体に優しい」食品や、手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。  
 一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



## 就労継続支援事業B型 ひだまり

コン・ブリオひだまりでは、店内でのお食事とテイクアウト弁当作りのほか、体に優しい商品を元気いっぱいの接客で販売しております。

また、市立札幌病院で床頭台清掃の委託業務も行っており、現在メンバー11人とスタッフ5名で働いています。

料理が出来なくても、経験がなくてもスタートは一緒です。皆が優しく教えてくれますよ!

ひだまりと一緒に働いてみませんか？  
 みなさんのご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131  
 担当 小野寺・小野

私たちと一緒に楽しく働きませんか!!



※毎日元気に出勤できる方優遇  
 お問い合わせ:011-613-0611  
 担当 村上・奥井

## 就労継続支援事業B型 こころや



あなたのこころに!!  
 私のこころに!!  
 「こころや」です。



『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。ご連絡お待ちしております。

問い合わせ:011-614-1871  
 担当 田中・小黒





NPO 法人 札幌障害者活動支援センターライフ

# ゆめぴりか



## 平成26年度産低農薬米 ゆめぴりか の年間契約販売のご案内

年間60kg以上 (10kg単位) の注文から契約させていただきます。

### ■5%割引

年間契約をしていただくと値段より5%引かせていただきます。

通常5kg 2,500円、10kg 5,000円のところ  
60kgの場合30,000円が28,500円になります。

### ■有効期限

2014年10月1日～2015年9月30日の1年間

### ■配送について

年間60kg以上契約のお客様は配送料無料。  
範囲は琴似周辺応相談。

※ご希望の方はこころやへご連絡下さい。FAXまたは郵送で申込み書を送付させていただきます。



## お好みに応じて精米いたします。(玄米・7分づき・白米)

分づき米とは?..... 玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「分づき米」。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”の分づき米が、今大きな注目を集めています。



白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

※ ご要望に応じて玄米、分づき米(7分)、白米まで精米いたします。

精米したて!!..... ご注文をいただいてから精米し、お届けいたします。精米したての新鮮なお米をご賞味下さい。



本田農場生産の..... 除草剤・イモチ防除剤、各1回のみ散布して栽培しています。

低農薬栽培は?



..... お買い求め・年間契約のお申し込みは .....



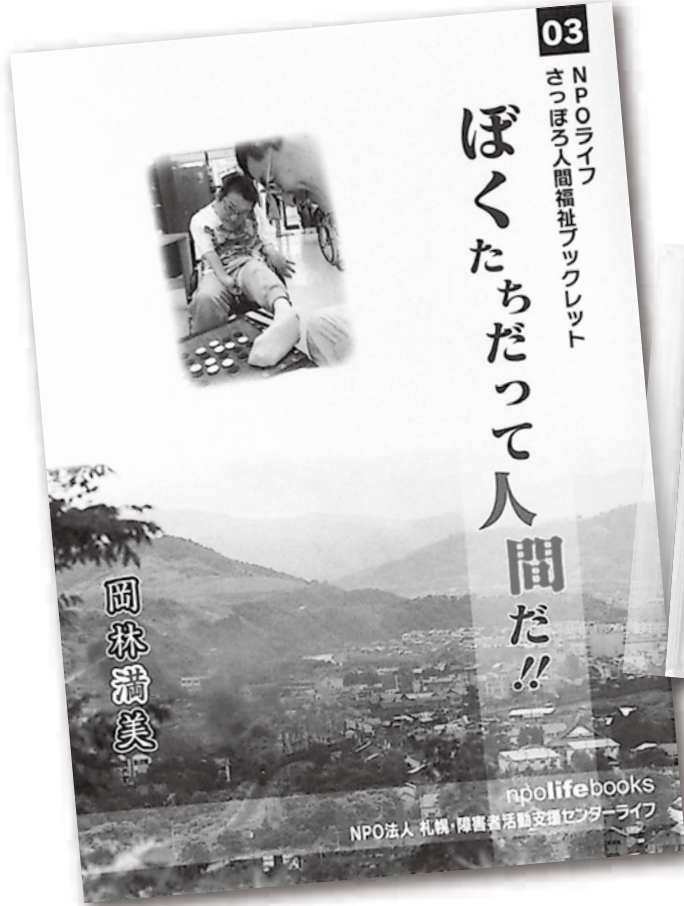
# こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOM01F  
TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323

# ライフの事業所 ころや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

**絶賛発売中**

障害者として生まれた満美。  
話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で  
自殺まで考えた彼が今、  
『生きていて幸せだ。』と言えるのは…  
岡林満美、渾身の一冊、ぼくたちだって人間だ!!



CD 岡林満美  
僕たちの小さい命  
同時発売!!

NPO ライフブックレット No.3  
2012年8月31日発行  
『ぼくたちだって人間だ!!』  
定価 800円(送料別)  
A5判 134ページ

2012年8月31日発売  
『僕たちの小さい命』  
定価 300円(送料別)  
※ 同時購入 1,000円(送料別)



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使われることが多いように感じられるから…  
本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぽろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.2 2008年8月31日発行  
『収容施設はもういらないと思うまで』  
A5判 72p 定価 840円(送料別)

## 社会的排除からインクルージョンへ 経済の民主主義と公平な分配を求めて



危機の時代こそ  
新しい考えを試す好機!  
社会的事業所促進法を!

日本発  
共生・共働の  
社会的企業  
定価 2,100円(送料別)  
編者 NPO法人共同連  
2012年9月10日発行  
195×135 240p

●ブックレットのお申し込みは ——  
NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ 1F  
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323  
mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/



## 震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。

### 社会的事業所とは何か?

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2 2011年6月30日発行  
『誰もが働ける社会を』  
A5判 140p 定価 1,000円(送料別)





**イベントいっぱい!**

**13:00~** (NPO法人札幌障害者活動支援センターライブ)

## 岡林名人とのオセロ対決!

日本オセロ連盟認定3段、岡林名人との真剣勝負! きみは勝つことができるか!?



**13:30~**

## 柳亭互久楽さんによる鼻笛演奏会

昨年10月の全国大会で日本一となった楽しくて美しい音色は必聴です!

## リユースバザール

できたて **ポップコーン** (もこもこ)

あつたか **特製とん汁** (コン・ブリオひだまり)

## フェアトレード商品の販売 (第三世界ショップ)



立場の弱い発展途上国の生産者から直接商品を購入することで「仕事、教育、医療、地位向上など」を応援する貿易活動です。

学生証(高校生以上)の提示が必要です。  
※札幌市民限定

## 学生さんの新生活を応援!! アカデミックセール

リユース家具を2~5割引き!!

**2月14日(土)~4月12日(日)** (販売時間) 10:00~16:00 (休館日) 毎週月曜日

## 作って! 学べる!

**10:00~** 先着20名/材料費:100円

## レジ袋・買い物袋で凧作り教室

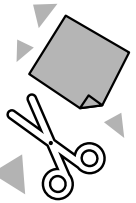
※小学生以上(幼児は親子参加)



**11:00~** 先着10名/無料

## 厚紙を使った鼻笛作り教室

講師:柳亭 互久楽さん  
※小学生以上対象



**13:00~** 先着30名/無料

## 雪中アイスクリーム作り

作ったあとはみんなで試食会!



## 遊んで! 学べる!

**11:45~** 11時30分から受付開始

## 「さっぽろ環境かるた」で雪中大かるた大会!!

ごみを減らすための「4R」や、エコ生活を送るためのごみ減量、節電、節水などさまざまなアイデア、さらに札幌市の環境に対する取り組みについて楽しく学べるよ!

★参加者には記念品をプレゼント!

**12:30~** ※大人対象/先着20名

## チャレンジ! 4R

札幌市の4つのR(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)について学びながら、楽しくエコの勉強ができちゃう!

★参加者には3R推進月間特別配布の生ゴミ水切り器をプレゼント!

リユース特製『ペレット袋ソリ』で雪山滑り♪ 《手づくりソリの貸出し》午前10時~午後14時まで  
\* ペレットとは、おが屑や樹皮などの製材端材や間伐材を粉碎圧縮した固形燃料です。エコなソリで思いっきり雪山滑りを楽しんでね! \*

**入場無料 2月21日(土) 10時~15時**

**場所 札幌市リユースプラザ** お問合せ **011-375-1133**  
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10 ※地下鉄東西線「新さっぽろ駅」7・9番出口 徒歩8分程度

主催/札幌市環境局環境事業部 札幌市リユースプラザ

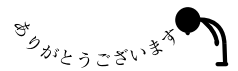


札幌市リユースプラザ

検索



🎧 **ご協力ありがとうございます** 🎧



**アドボケイト購読料**

平川 則男 様 佐藤 靖子 様

**寄付金**

織本 英子 様

私のオススメ

著者:高倉 健「あなたに褒められたくて」

もしや所長 福田 義浩

高倉健という人は不思議な人である。スクリーンの中で演じられる役柄は、彼の虚像を作り上げていく。

高倉健の寡黙で男らしいそのイメージは、彼が好む好まざるに関係なく、人に影響を与える役者であった。

このエッセーには、生身に近い高倉健が投影されている。西表の由五郎さんとの心温まる話や村田兆治さんの引退の時のエピソードなど、「この人はかけがえのない人材だ、もうこんな人には二度と会えないぞと思うような人に限って、深く傷つけてしまう。傷つけたことで自分も傷ついてしまう。」とつぶやきながら、出会いと別れを繰り返していく。

エッセーのタイトルにある「褒められたい」相手とは誰か。エッセーの最後の数ページに明治生まれの母親の事が書かれている。明治女の頑固な気性と老いていく母親を思う息子の気持ち、滑稽なほどよく描かれている。

「八甲田山」を観て、母親は言う。「あんたも、これだけ長い間やってるんだから、もうちょっといい役を

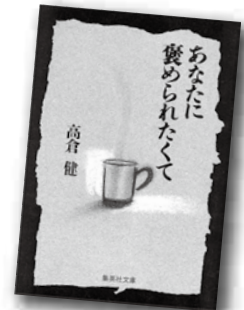
やらしてもらいなさいよ。なんか雪だるまみたいに貴方が這い回って、見てて母さんは一切ない」読んでいて思わず、笑ってしまった。

彼の妹たちが、母親と映画を観に行くのは嫌だと言う。何故ならスクリーンに向かって「後ろから斬るとね。そんな卑怯な事をして」と周囲におかまいなしに言ったりするので、恥ずかしくなると言う。

その母親が亡くなった時「あ・うん」の撮影で告別式に出られなかった役者の宿命と、菩提寺にある母親のお墓の前で回想する子供の頃の話が胸を打つ。

「帰っても誰もあなたを迎える人がいない。それを思うと不憫だ」といつも言っていたという母親。

母親にとって息子は、やはり特別な存在に違いない。



出版社: 集英社文庫 価格: 1,000円

～ライフカンパのお願い～



NPO札幌障害者活動支援センターライフでは、設立して25周年を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、この2,3年皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

◆ 振り込み先

- |        |      |                      |
|--------|------|----------------------|
| 北洋銀行   | 加入者名 | 琴似中央支店 普通預金 4606735  |
|        |      | 特定非営利活動法人            |
|        |      | 札幌障害者活動支援センターライフ     |
|        |      | 理事長 我妻 武             |
| 札幌信用金庫 | 加入者名 | 琴似支店 普通預金 3296744    |
|        |      | 特定非営利活動法人            |
|        |      | 札幌障害者活動支援センターライフ     |
|        |      | 理事長 我妻 武             |
| ゆうちょ銀行 | 加入者名 | 振替口座 02710-4-63485   |
|        |      | NPO札幌・障害者活動支援センターライフ |

編集後記

本号が届く頃は雪まつりの雪像も壊されて、殺風景な景色の大通公園のはず。それは春が間近であること。もう少しの辛抱。しかし、辛抱できないのは、この時期に行われる地下鉄エレベーター工事。対象駅が4駅との発表が今年の11月で、12月から工事に入っている。この4駅は設置から30年を超えているから仕方がないが、工事の進め方が問題だ。雪の時期に利用できないのは辛い。回り道も容易ではない。もっと早くに議論をして工事時期や代替措置(移送や階段昇降機等)についても議論ができたはず。何のために「障害者の権利条約」に日本が批准したのか。何のための「北海道障害者条例」か。辛抱できない。(タケ)

アドボケイト 2月号(第171号)

2015年2月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第514号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

編集人/NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ

理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ <http://npolife.net/>

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円